

○進んで学び自ら正しく判断し、行動する子ども
○人を大切にし、豊かな心をもつ子ども
○たくましく生きぬく子ども

城野

= 共 育 =

学校だより 学力特集号
令和3年12月14日
北九州市立城野小学校
校長 土田 成夫

令和3年度全国学力・学習状況調査の結果の報告と今後の取組について

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、令和3年5月27日(木)に、6年生を対象として、「教科(国語, 算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせいたします。

学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取組の参考にしていただきたいと思います。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。

1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)
国語	<ul style="list-style-type: none">・全体的に全国平均正答率とほぼ同程度であった。無回答は全くない。・書くことの領域に関しては、全国平均正答率を大きく上回っている。しかし、言葉の特徴や使い方に関する事項に関する問題にやや課題がみられる。・目的や意図に応じて、理由を明確にしなが、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫する問題についての正答率が全国平均を大きく上回っている。・学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく書く問題に課題がある。
算数	<ul style="list-style-type: none">・全体的に全国平均正答率をやや上回っており、無回答はほぼない。学習指導要領の全領域で全国平均正答率を上回っている。・変化と関係に関する問題についての正答率が全国平均正答率をやや上回っている。特に、グラフから数量や特徴を読み取る問題についての正答率が大きく上回っている。・複数のデータを比較し、示された特徴をもった項目とその割合を言葉と数を用いて記述する問題に課題がある。

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要

質問紙調査の結果分析
<ul style="list-style-type: none">・「5年生までに受けた授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組んでいましたか」、「すべての書く問題で最後まで解答を書こうと努力した」という問いに対し、肯定的な回答をした割合は全国平均を大きく上回った。日頃から学習に意欲的に取り組み、自ら主体的に学ぶ児童が多いことがわかる。・「学級の友達との間で話し合う活動では、話し合う内容を理解して、相手の考えを最後まで聞き、友達の考え(自分と同じところや違うところ)を受け止めて自分の考えをしっかりと伝えていましたか」や「あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級会で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか」という問いに対し、肯定的な回答をした割合は全国平均を上回った。学習や学校生活の課題や問題を話し合いで解決しようとする対話的で深い学びができてきていることがわかる。・「将来の夢や目標を持っていますか」、「難しいことでも、失敗を恐れないで挑戦していますか」という問いに対し、肯定的な回答をした割合は全国平均を大きく上回った。自尊心が高く、将来を展望できるようになってきている児童が多いことがわかる。・「朝食を毎日食べていますか」など、生活面に関する質問に対して、肯定的な回答をした割合が全国平均を下回った。児童の生活実態を把握し、改善する必要がある。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

- ・週5日、朝自習の時間に、認知機能強化トレーニング(コグトレ)を位置づけ、基礎学力の基盤づくりの推進。
- ・一単位時間の授業の中で、話し合う活動(ペア、グループ、全体)を取り入れる。
- ・一単位時間の授業の終末に、「ふり返り」の時間を設定し、「書く」活動を取り入れる。

② 家庭生活習慣等に関する取組

- ・本校で作成した「学習・生活の手引き」を配布し、生活習慣や学習習慣について保護者に周知する。
- ・月初めの1週間を「家庭生活・学習がんばり週間」と位置付け、各家庭に家庭生活・学習がんばりカードを配布し、基本的な生活習慣の様子を保護者とともに確認して記述できるようにする。
- ほけんだよりを通して、月別努力目標を保護者に周知する。